

回答書

株式会社 北信食肉センター と畜業務高度化事業
(令和 8 年度 ALIC 食肉処理高度化緊急特別対策事業)

管理番号：HSC-18

令和 8 年 8 月 17 日

株式会社 北信食肉センター

本事業に関して提出された質問書について、以下のとおり回答を掲載します。
本回答は入札参加者全社に共通する情報として公開するものです。

なお、本回答に関連する図面・梁伏図・負荷計算書等の添付資料については、
HP 内の「提供資料」欄にて併せて公開しておりますので、ご確認ください。

■ 共通

【質問】

仕様書に記載のほとんどの機器が SUS304 となっております。広く使用されている機器で SUS 製でないものやアルミ合金製等々となります。積算上は、ガイドライン等の衛生・安全基準を守る仕様機器で良いですか？

【回答】

仕様書では原則として SUS304 を標準材質 としていますが、構造上 SUS 以外の材質が使用されている場合でも、

- ・衛生管理基準
- ・安全基準
- ・同等以上の耐久性

を満たすのであれば 代替材質を認めます。

代替材質を使用する場合は、材質の種類・理由・衛生性・耐久性が確認できる資料の提出をお願いします。

【質問】

各機器に接続する 1 次側、2 次側の電気・給水・給湯・エアー配管は本工事となっております

ますが、電力源(キュービクル)、エアー源(エアーコンプレッサー)、水源(受水槽)工事も含まれますか？

【回答】

以下のとおり整理します。

● 電力源（キュービクル）

既存キュービクルは 500kW へ増設済みであり、供給能力に不足はありません。

ただし既存配電盤に空きがないため、機器接続に必要な一次側整備（配線・配電盤）は本工事に含めます。

● エアー源（コンプレッサー）

既存コンプレッサーで必要量は確保できると認識しています。

不足を指摘する場合は、必要量・同時使用条件・安全率を含む容量計算の根拠資料の提出をお願いします。

● 水源（受水槽）

当センターは上水直結であり、水源そのものが不足することは想定していません。

水源（供給元）としては既存で対応可能と判断しています。

【質問】

電気量、水量、エアー量の増大による 1 次側の改修は、別途工事と考えて良いですか？

【回答】

供給源設備（電気量・水量・エアー量）については、既存設備で対応可能であると判断しています。

ただし、今回の機器更新・新設に伴い、一次側の配線・配管・配電盤等で不足が生じる場合や、工事に伴い変更が必要となる部分については、すべて本工事内で対応するものとします。

別途工事として切り離すことは考えていません。

必要な一次側整備は、本工事の範囲として確実に実施してください。

新設機械の中には 大量の水を使用する機器が複数 あり、

同時使用時には 水量不足・水圧低下が発生する可能性が高い と判断しています。

したがって、

安定した作業を維持するためには、貯水槽の設置を含めた水量確保対策が必要である

という方針を示します。

本工事では、必要な水量・水圧を確保できる設備構成とすることを求めます。

■ 仕様書 No.5 縦型スキナー（エアーシューター付）

【質問】

縦型スキナー2台を設置し、更に大貫用バイパスラインを設置するにあたり、弊社設計では直列案となります。並列案では大貫バイパスラインが成立しません。

【回答】

弊社では大貫は並豚処理の最後に行う運用であるため、この運用が成立するライン構成としてください。構成方法については、実現可能であれば特に問いません。

衛生性および処理効率の確保という観点から、並列配置が妥当であると判断しています。ただし、衛生高度化が確保され、処理効率に支障が生じないことが確認できる場合には、直列配置を採用することも可能です。

【質問】

作業時間分析から、縦型スキナーは1台のみの稼働で充分可能です。

【回答】

本事業では、機器をバックアップ用途として設置する考え方自体が前提としておらず、バックアップ構成は成立しません。

2台はいずれも運用上不可欠な機器であり、双方が稼働可能な構成とすることが必須です。

【質問】

1台のみ使用する際、もう1台は通過するのみとなります。使用しない機器へは、と体が毎回接触する考えで良いですか？

【回答】

直列配置の場合、と体が前段側機器に触れる可能性があるため、接触部位を確実に消毒・洗浄できる構造・運用が必須条件です。

消毒作業により処理効率が低下する場合の直列配置は認められません。

■ 仕様書 No.8 電動背割機

【質問】

性能 350 頭／時とありますが、既存ジャービス製バンドソーで積算して良いですか？

【回答】

同一型式の採用自体は差し支えありませんが、既存機と同一仕様のままでは高度化にならず、適切ではありません。

制御盤を含め、既存機を上回る最新仕様・高度化が施されていることを前提として積算してください。

なお、仕様書の性能要件（350 頭／時・安全性・衛生性）を満たす場合には、他メーカー製も採用可能です。

■ 仕様書 No.11 エアナイフ

【質問】

仕様書 410W ではなく、既存ジャービス製 JC-ⅢA で良いですか？

【回答】

ジャービス製 JC-ⅢA（JC-3A）以上の性能を基準として認めます。

既存機は故障により風量が安定せず、性能が大きく低下しているため更新が不可欠です。性能要件を満たす場合は 他メーカー製も採用可能 です。

【質問】

エアナイフ本体は単品納入との認識で良いですか？

【回答】

単品納入は認めません。

以下の関連機器を含めた一式で整備してください。

- ・レギュレーター
- ・フィルター
- ・ルブリケーター
- ・エアホース

掛け置き台については、新設場所には新規設置とします。

■24 冷却冷蔵装置（小型）

【質問】

スペースが狭く指定のクーラーでは能力が不足気味です。
クーラーの台数を増加してもよいでしょうか。

【回答】

既存冷蔵庫の管理業者に負荷計算を依頼した結果、仕様書記載の台数で必要能力を満たすことを確認しております。
負荷計算書を添付しておりますので、ご確認ください。

そのため、入札における積算は 仕様書記載台数を前提としていただくことが妥当 と考えます。

なお、設置条件により能力不足が生じる場合は、
台数増加による補完を行って差し支えありません。
ただし、台数増加は積算額に影響する可能性があるため、
入札価格への反映についてはご留意ください。

■26 牛枝肉通路扉を冷蔵庫へ

【質問】

旧建屋の梁図はいただけるでしょうか。

【回答】

建屋の梁伏図につきましては、昭和 59 年度作成の図面が現存しておりましたので、参考資料として添付いたします。
当時の図面であるため、現況と異なる可能性がございます。参考程度としてご確認ください。

また、平面図につきましては、平成 13 年度作成の図面および昭和 59 年度作成の図面が現存しておりましたので、併せて添付いたします。
昭和 59 年度図面は古い資料となるため、こちらも参考資料としてご確認ください。